

ご議論いただきたい論点

● 自助、公助、共助、互助の概念について

- ・ 自助、公助、共助、互助について、概念をどのように整理するのか。
- ・ 格差の拡大について、公助、共助の観点からどのように考えるのか。
- ・ 都市部と地方では、これらの概念はどのような役割を果たしているのか。

(参考) 地域包括ケア研究会 報告書(厚生労働省 老健局 平成 21 年 5 月)

自助: 自ら働いて、又は自らの年金収入等により、自らの生活を支え、自らの健康は自ら維持すること。

互助: インフォーマルな相互扶助。例えば、近隣の助け合いやボランティア等。

共助: 社会保険のような制度化された相互扶助。

公助: 自助・互助・共助では対応できない困窮等の状況に対し、所得や生活水準・家庭状況等の受給要件を定めた上で必要な生活保障を行う社会福祉等。

● 高齢者の捉え方について

- ・ 高齢者については、例えば、年金受給前の成熟期、年金中心かつ時間にゆとりのある引退期、要介護や看取りも含む老後期の課題についてどのように考えるか。

● 働く意欲の高い高齢者への対応及び意欲を阻害する要因について

- ・ 高齢者が働きたいというモチベーションの背景は何か。
- ・ 高齢者の働きたい、社会参加したいという意欲を阻害する要因・課題は何か。
- ・ 具体的にどのような方向に進めていくべきと考えるか。

● 高齢期及び高齢期に向けた備えについて

- ・ 所得保障の観点から高齢期及び、高齢期に向けた備えについての課題は何か。
- ・ 働き方や能力形成の観点から高齢期及び、高齢期に向けた備えについての課題は何か。
- ・ 健康管理や自己啓発など高齢期及び、高齢期に向けた備えについての課題は何か。
- ・ 具体的にどのような方向に進めていくべきと考えるか。

● 高齢者が安心して活躍できる環境整備について

- ・ 防災・防犯の観点も含め、高齢者が安全にいきいきと活動するための、居住をはじめとしたハード面での課題は何か。
- ・ 高齢者が快適に生活したり、高齢者を支える人々が支援しやすくするための市場の活用・拡大についての課題は何か。
- ・ 具体的にどのような方向に進めていくべきと考えるか。